

令和8年度 第1回南部町民と議会との懇談会 会議録

令和8年5月21日（木）
午後7時30分 開会
場所：改善センター2Fホール

1. 出席議員（10名）

1番	芦澤潤一郎	2番	望月 憲之
3番	望月小五郎	4番	塩津 悟
5番	高橋 茂広	6番	小泉 昇一
7番	望月光彦	8番	仲亀佳定
9番	若林良一	10番	木内 秀樹

2. 欠席議員（0名）

3. 議会事務局出席者

議会事務局長	渡辺 正樹
議会事務局書記	山本 智穂

《町民と議会との懇談会 19時30分～21時10分》

○司会（望月憲之 議員）

お仕事や農作業でお疲れのところ、多くの方々にお集まりいただき、感謝申し上げます。

本日の司会進行をさせていただきます、望月でございます。議事進行にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

南部町議会では「開かれた議会」を目指し、町民の皆さまとの懇談会を一昨年から開催しており、今回は5回目になります。

それでは、式次第により進めさせていただきます。

開会に先立ち、望月光彦議会運営委員長より開会の言葉を申し上げます。

○望月光彦 議員

改めまして、こんばんは。

先ほどお話がありましたように、本日はお忙しい中、また農作業等で体を使った後にご参加いただき、誠にありがとうございます。

ただ今より町民懇談会を開催いたしますが、この懇談会が皆さまにとりまして有意義な時間となることを期待し、開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（望月憲之 議員）

続きまして、本議会を代表し木内秀樹 議長がご挨拶申し上げます。

○木内秀樹 議長

改めまして、こんばんは。

本日は第5回南部町民と議会との懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また日頃より、町議会活動に対しましてご理解とご協力を賜っておりますことに、議長として心より感謝申し上げます。

この懇談会は、議会と町民の皆さまが直接意見を交わし、行政や地域課題について共に考える大切な場として開催しております。議会は議決機関として、町民の皆さまの声を町政に反映させる責務があります。そのためにも、このような対話の機会を重ねることは大変重要であると考えております。

本日は、令和7年度事業概要、そして令和8年度に向けた施策や方向性について説明させていただく他、西部広域環境組合議会、3町医療事務組合議会、峡南広域行政組合議会についても、それぞれ担当議員から報告を行います。

今、町では人口減少や高齢化、防災対策、それに地域交通、医療、福祉、教育、更にはデジタル化への対応など、地方自治体を取り巻く課題は年々多様化しております。そのような中で、南部町が将来に渡り安心して暮らせる町であり続けるためには、行政だけではなく、議会そして町民の皆さまとの連携が欠かせません。本日の懇談会ではぜひ、率直な意見やご提案をお聞かせいただければ

ばと思います。皆さまからいただいた声を、今後の議会活動、更には町づくりへしっかりと活かして参りたいと考えております。限られた時間ではございますが、実りある懇談会になりますことをお願い申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○司会（望月憲之 議員）

それでは早速、議事へ移らせていただきます。

本日は議題を4つに分け、担当議員から説明させていただきます。

まず、小泉昇一 議員より、令和7年度事業の概要と主な事業について説明をいたします。続いて、令和8年予算について芦澤潤一郎 議員より説明し、その後質問を受け付けますので、よろしくをお願いいたします。

1.

①令和7年度に実施した事業の主な内容と令和8年度新年度予算について

説明：小泉昇一 議員

説明：芦澤潤一郎 議員

○司会（望月憲之 議員）

2人の説明が終わりました。

令和7年度の事業概要ですが、まだ決算が済んでいないため、ここから若干数字の変動があるかもしれません。おおよその数字だということはご理解ください。

それでは質問を受け付けます。質問される方は、質問の前に名前をお願いします。また、多くの皆さまに発言いただくために、質問は3分以内にまとめてお願いします。

〈質疑応答〉

●質問：令和7年度一般会計予算について、配布資料には予算総額が補正含め60億2701万2千円とされていますが、4月発行の議会だよりには予算総額は65億6223万6千円と記載があります。こちらの5億の差は何でしょうか。

●回答：この60億2701万2千円という金額は、12月定例会での補正予算を含めた金額であり、最新の数字は65億6223万6千円となっております。訂正し、お詫びいたします。

②山梨西部広域環境組合による新たなごみ処理施設について

説明：仲亀佳定 議員

〈質疑応答〉

●質問：南部町内には、環境センターや峡南衛生組合のごみ処理施設がありますが、これらの機能を停止し、新施設へ集約するということですか。

●回答：はい。

- 再質問：施設を一カ所へまとめると、メリット、デメリットがあると思います。そのことについて、議会や町の執行部で議論を重ねた上で決められたのでしょうか。これまでの経緯をお聞かせいただきたいです。
- 回答：最初に執行部から説明があり、それを踏まえ南部町議会からもいくつも質問をし、回答を聞いて納得した上で承認しています。それがおよそ10年ほど前となっています。
- 質問：総工費が563億7500万円と記載されていますが、中東問題の影響から、今現在では記載額よりも多くなっているのではないのでしょうか。これから先、町への負担金が決まってくるかとは思いますが、どういったお考えをお持ちでしょうか。
- 回答：予算については、国からの補助金が出ることになっています。また負担金については、各市町村の人口割で決定します。具体的な数字は、資料に記載のとおり10月にある議会で決まる予定となっているため、不確定なものに対してこれ以上の返答は難しいです。
- ご意見：元の算定の数字が、世界情勢によりあまりにも変動的となっています。ゼネコンでも工事の請負を辞退しているといったことが、全国的にいくつもみられます。ましてや、このように大きな事業で建築資材等の値段が上がれば、元の算定額からかけ離れる可能性もあります。国から補助金が出るからいいといったことではなく、元の算定額から値上がりした場合、各市町村がその金額に対応できるかどうか気がかりです。人口割で決まるとしても、南部町もそれなりに高い金額になると思います。それに対応できるかどうか、町の財政状況を見ながら、慎重に考えて進めていただきたいです。

③早川町・身延町・南部町医療事務組合の医療体制再編と持続可能な医療提供体制の確保について

説明：高橋茂広 議員

〈質疑応答〉

- 質問：配付資料のタイトルは「早川町・身延町・南部町医療事務組合の概要」とありますが、懇談会のチラシに書かれていた「早川町・身延町・南部町医療事務組合の医療体制再編と持続可能な医療提供体制の確保について」の方が適しているのではないのでしょうか。
- 主な内容は、3町の医療体制を再構築し最適な形に持っていくこと、施設管理や医療費の徴収などの医療事務を外注化することの2点だと思います。この資料のタイトルでは、組合の概要のみに感じてしまいます。医療のひっ迫を解決するために、今までとれていなかった3町の医療を連携し、無駄な部分を省き、医療事務の得意な会社を外注して負担減を図り、永続的に将来に残せるような医療体制を作るという趣旨が伝わりづらいと思います。チラシのように、趣旨をはっきり書いた方がよろしいのでは、という提案になります。

●回答：仰る通りかと思います。次回には表現を変えて記載したいと思います。

●質問：現在の南部診療所職員は役場職員と同じような待遇となっています。その待遇も変わるということで、処遇について気になっています。職員の方々にとってももう間近な話になるので、どういった形で理解されているのか伺いたいです。

●回答：診療所の職員へ対しては、4月中に説明をしました。5月に、個人的に質問のある方から質問を受け付けて回答し、6月に個人面談をして、6月7月で内定を出す形になっております。そして、一番心配なのは給与面かと思います。減給補償というものが3年間あり、1年目は100%で、現在の給与と同じ額を補償します。2年目は75%の補償、3年目は50%の補償となると伺っております。

●再質問：1年目は今と同じ金額ということですね。その%というのは、法人からの給与にプラスして確保されるということでしょうか。

●回答：その通りです。その医療法人の給与は、国立病院の給与に準じて決められています。足りない分は各市町村で賄う形となっております。

●再々質問：継続する職員については給与面では3年間町から補償されますが、処遇は公務員でなくなるので、退職金等も変わるかと思います。職員の方々は納得されて、今のところ皆さん継続されるのでしょうか。

●回答：そこまでは分かりません。結果は7月にならないと分かりませんが、できれば全員継続していただきたいと願っているのが各町の現状ではありますし、医療法人側もそれを望んでいます。

●質問：7月頃に、現在診療所で働いている職員の意向で配置が決まるということですが、医療法人で求めている職員の数は最終的に集まるのでしょうか。

●回答：そこまでは分かりませんが、なるべく今いる職員の皆さまには全員残っていただきたいという願いはあるようです。足りなかった場合には、募集をかけるという話は伺っています。

●ご意見：できるだけ地元から大勢の人が働いてくれる方が一番助かるかと思いますが、職員が足りなかった場合、4月のオープンに対して間に合うか不安を覚えます。箱ばかりできても、そこで働く人がいなければ医療体制は整わないので、その辺りはしっかりとお願いしたいです。

●回答：市立清水病院は職員が40%以上退職すると新聞に載っていましたが、そういったことのないように医療法人側も事前説明等をやって参りました。結果は分かりませんが、なるべく残っていたような方策をとるようにしていきたいと話聞いております。

●ご意見：新しい体制になるのが不安だという声も聞きますし、看護師の求人はたくさんありますから、全く新しい所へ行くのではなく、安定して運営されていて、安心して移れるような所を求めている、という話も少しばかり耳にするので、油断せず一生懸命に組合で進めていただきたいと思います。

④ 峡南広域行政組合による消防本部、情報センター等の統合と新庁舎整備、慈生園について

説明：望月小五郎 議員

〈質疑応答〉

●質問：慈生園の入居者は何名いて、その全員がネオライフ富沢へ移れるのでしょうか。

●回答：現在の入所者は28名で、南部町民が21名、身延町民が7名となっています。その28名は、全員ネオライフ富沢へ令和10年4月までには転居が可能となっております。

2. その他

●質問：令和8年度の一般会計予算に関してですが、3月の議会報告を見ますと、配布資料のように細かい項目ではなく大きな金額から箇条書きされています。大きなものから説明する方が分かりやすいかと思いますが、何故この資料では細かい項目で記載されているのでしょうか。

●回答：議会だよりの場合には、一番金額の大きいものから並べてあります。今回の説明の中には、峡南広域行政組合や西部広域環境組合等の各組合議会からの説明がありましたので、そちらは省いて、純粋に町に使われている予算を細かく説明させていただきました。

●再質問：2ページ目に項目毎の額の話が入っているので、1ページ目は細かい数字の話を入れたということですね。やはり大きな額から書くのが順当かとは思いますが、あくまでも私見ですのでお任せいたします。

次の質問ですが、本年度予算が3月に承認されましたが、歳入のところに繰入金というものがあります。意味を調べると、基金の月回しや取り崩しというものなのですが、一般的な感覚で言うと、貯金を取り崩して足りないから借金をすると思います。ですが、町の場合には基金を取り崩しながら借金をしています。3月に配付された町の予算詳解には基金が92億円ほどあると書かれていて、一概に借金は駄目だというわけではありませんが、そんなにも基金があるならば、借金をするよりも今ある基金を使った方がよいのではないのでしょうか。

●回答：一般的に借金をする理由というのは、町民全体で使うからです。借金をするのは、今だけでなく、後々の人の分も含めて借入れをしています。

●再々質問：財政課の説明にも世代間の公平性を出すためだと書かれていますが、次の世代が借金を負担することに納得できるような説明資料を残した方がよいのではないのでしょうか。そういった説明をせずに、作るものだけ作って次代へ借金を残すというのは如何なものかと思いますが、どうでしょうか。

●回答：仰る通りかと思います。将来の子どもたちには、何の借金か分かりませんから。議会としてそのようにできればと思います。

○司会（望月憲之 議員）

ありがとうございました。それでは、閉会に際し若林副議長が閉会の言葉を申し上げます。

○若林良一 副議長

皆さま長時間ご苦勞様でした。今日は皆さまから貴重なご意見をいただきました。これから議会としても、今回賜ったご意見を受け止め、町政に反映させていきたいと思います。

また、昨今の地域をめぐる課題を解決して、よりよい町づくりをしていくためには、行政だけではなく、町民の皆さん、そして議会が共に考え、協力し合っていくことが何よりも大切だと私は思っています。今後もこのような対話の機会を大切に、「開かれた議会」を目指して参りますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本日はご参加いただき、心より感謝申し上げます。お気を付けてお帰りください。

○司会（望月憲之 議員）

以上をもちまして、町民と議会との懇談会を終了いたします。道中お気をつけてお帰りください。本日は誠にありがとうございました。